

旭川医大 病院ニュース

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/>



編集 旭川医科大学病院
広報誌編集委員会委員長
谷野 美智枝

スチューデントドクターの臨床実習がスタート

臨床実習を開始して

医学科第4学年 出口 貴祥

OSCEを通過し、臨床実習が始まりました。「ようやくここまできたな」と感慨深いものもありましたが、始まってみれば自身の至らなさを痛感することばかりです。コロナ禍を経て、医療の在り方が変わっていくかもしれないなかで気持ちだけが急いでしまうこともあります。しかし、指導やサポートをしてくださる方々、学ばせていただく患者様への感謝を忘れず、臨床実習から余すことなく多くのことを学び、糧にしていきたいと思います。



Student Doctor に基づく臨床実習に思うこと

医学科第4学年 佐々木 慧

本年明けから臨床実習が開始されました。これまでは、座学によって理解を深めることが主眼でしたが、臨床という場においては知識の応用が重要になり、的確な臨機対応が必要課題となることから自らの力量不足を痛感する場面が多々あることと思います。今後はこれらの貴重な経験の一つでも多く吸収、咀嚼し研鑽を重ねることで自己実現につなげていきたいと考えています。このような機会を与えてくださった医学教育に関わる方々に心から感謝し、臨床実習に取り組んでいきたいと思います。



※ スチューデントドクターとは、全国統一共用試験であるCBT（コンピューター客観試験）とOSCE（客観的臨床能力試験）に合格し、診療参加型の臨床実習を開始するに足る知識・技能・態度を有していることが認められた医学生のことです。

逆紹介啓発推進活動に関するポスターデザイン表彰

副病院長 竹川 政範

特定機能病院において逆紹介を推進することは、良質かつ適切な医療を効率的に提供し、医師の働き方改革、各医療関係職の専門性を活用する上で喫緊の課題になっています。

昨年末、患者さんに地域医療連携の強化および、かかりつけ医制度を普及させるために逆紹介を推進する目的で、病院職員の皆様にポスターの公募を行いました。このたび、整形外科 阿部里見先生のデザインによる逆紹介推進のポスターが採用され、古川病院長からポスターデザイン表彰が行われました。ポスターからは、かかりつけ医と当院との連携により安心・安全な医療を受けられる患者さんの満足感と安心感が一目で感じ取れ、病院スタッフの気持ちも表していると思います。整形外科阿部先生には、素晴らしいポスターをご提案いただき感謝いたします。

すでにポスターを院内に掲示しています。ポスター掲示をご覧になった患者さんから、かかりつけ医紹介の依頼をいただいております。逆紹介についてご相談・ご質問のある方は地域医療連携室(0166-69-3114)までお問い合わせください。

医療資源を重点的に活用する外来の充実および病院スタッフの負担軽減のため逆紹介の推進にご協力ください。



看護職キャリア支援センター -研修、セミナーの開催報告-



看護職キャリア支援センター
Nursing Support Center for Career Development, Education, and Research

「実習指導者研修」を開催しました

本研修は、看護学生の看護実践を指導する能力を高めることを目的とし、基礎コース3回と実践コース1回の計4回で構成しています。基礎コースは講義とグループワークによる研修で、院内から22名、院外から9名の計31名の参加がありました。全3回にわたって本学の教員が「看護の概念」「看護学生の理解と関わり方」「コミュニケーション」「カリキュラムと実習指導の位置づけ」「看護基礎教育における実習指導の意義と実習指導方法、指導者と教員の役割」「看護過程、評価の意義、カンファレンスの目的」について講義を行い、その後学内と学外の受講者が合同で学びの共有を行いました。実践コースは臨地看護学実習での実習指導者のシャドーイングを通して基礎コースでの学びをより深めていく研修で、院内から2名が研修を修了しました。今年度の研修も無事に開催することができ、ご協力いただいた皆様方にお礼申し上げますとともに、参加者皆様の学生指導に本研修が活かされていくことを期待します。



「学生と看護職セミナー（二輪草セミナー）」を開催しました

学生と看護職セミナー（二輪草セミナー）は、キャリアや生きがい、自分らしく生き働き働くためのキャリアデザインを考えることを目的としたセミナーです。今年度はガーデニングの聖地として有名な上野ファームの上野砂由紀（さゆき）先生を講師としてお迎えし、2022年12月6日に「花ひらく可能性」というテーマでご講演いただきました。雪解けから芽吹く山野草の静かな佇まい、可憐さとともにあるいのちの強さ、短い開花の潔さとそれゆえに感じられる季節の移ろい、同じ時季に同じ場所で出会える期待と喜びなど、山野草や宿根草の魅力を十分に感じることができました。同時に、人生、生き方などを考える機会になりました。どうしても閉塞感を感じてしまう今、心温まる時間でした。上野先生、素敵なお話をありがとうございました。



「地域を紡ぐ看看連携セミナー」を開催しました

広大な北海道で看護職がつながる機会として、院内会場とZOOMによるハイブリッド形式で全3回の看看連携セミナーを開催しました。院外からは石狩、上川、留萌、オホーツク、十勝、根室地区の訪問看護事業所や保健所等より延べ44名（延べ30事業所等）、院内からは延べ38名の方々にご参加いただきました。第1回（2022年7月7日開催）「医療依存度の高い患者の在宅移行に向けて」、第2回（2022年9月22日開催）「認知症を抱える患者の在宅移行に向けて」、第3回（2022年12月9日開催）「地域で暮らす高齢者の安全・安楽な外来化学療法の継続に向けて」と毎回異なるテーマで、ミニレクチャーのほか検討事例をもとに地域と病院の看護の継続性や具体的な連携についての意見交換を行いました。今後も病院・地域の垣根を超えた率直な意見交換を通して実践に活かせるようセミナーを企画・開催していきますので、今後のセミナーに是非ご期待ください。



薬剤部

副作用情報(79)
アレルギー反応に伴う急性冠症候群(コーニス症候群)

薬品情報室 寺川 央一

本副作用は、アレルギー反応と急性冠症候群が同時に発生する病態であり、アレルギー反応により肥満細胞から放出されたメディエーターが冠血管攣縮や急性心筋梗塞を引き起こす疾患とされている。3つのタイプがあり、タイプⅠはもともと有意狭窄がない冠動脈に攣縮をきたすもの、タイプⅡはもともと存在していた冠動脈プラークが破裂し急性冠症候群をきたすもの、タイプⅢは冠動脈ステント留置症例においてステント内血栓症をきたすものとされている。

認知度が低く、アナフィラキシーまたは急性冠症候群と診断されてしまう症例があるため、実際の症例数は報告数より多いと考えられている。症例報告の集積が求められている副作用の一つである。

診断基準は確立していないため、臨床症状や血液検査、画像検査などに基づいて冠攣縮症候群や急性心筋梗塞とアレルギー反応が診断された場合に、本副作用の可能性を考えることになる。

治療はアレルギーと急性冠症候群に対して並行して行う。どちらか一方を注視するあまり、他方を見落とすと重篤化する危険性があるため、常に双方を念頭に置いた処置対応が必要である。

アレルギー反応を起こしやすい医薬品はいずれも原因物質となる可能性がある。また、医薬品以外にも食物、金属、虫や魚等の刺傷・咬傷など原因となりうる物質や状況は幅広く存在するとされている。

添付文書に登場したのは、2021年10月のセフォペラゾン・スルバクタムが初めてで、2022年7月にイオパミドール、イオヘキソール、イオメプロール、2022年11月にアモキシシリン含有製剤に追加されている。今後、認知度の上昇とともに増えてくると思われる。

＜参考文献＞「医薬品・医療機器等安全性情報 No.387」

臨床検査
輸血部発臨床検査・輸血部発 コロナウイルス
(新型コロナウイルス)について

臨床検査・輸血部 佐藤 多嘉之

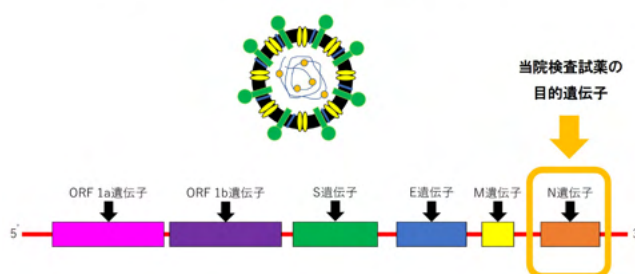
ヒトに感染するコロナウイルスは、一般的な風邪の原因となる4種類のウイルスと重症肺炎等を起こす2種類のウイルス(2000年初期に流行となった重症急性呼吸器症候群(SARS)と2010年頃に中東地域で流行した中東呼吸器症候群(MERS))が知られています。加えて2020年から流行している新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が新たに出現してきていますがこのことは周知の事と思います。感染時の主な症状としては発熱、咽頭痛、倦怠感などですが、SARS-CoV-2感染症では加えて味覚障害や嗅覚障害も伴う場合もあります。

コロナウイルスの特徴ですが、大きさは直径約100~200nm、形は球状でウイルスの表面には突起があります(最後のイメージ図を見てください)。このようにウイルスの形態が冠に似ていることからギリシャ語で王冠という意味のcorona(コロナ)という名前が付けられたと言われています。構造は、ウイルスの表面が脂質二重膜で覆われ、スパイク蛋白(S)、エンベロープ蛋白(E)、膜蛋白(M)で構成されています。その表面の中にヌクレオカプシド蛋白(N)と一本鎖のRNAが存在しており、人間の細胞と比べて単純な構造になっています。

最後にSARS-CoV-2感染症で大きな話題となった臨床検査技師が行うPCR検査について簡単にご紹介します。PCRとはPolymerase Chain Reaction(ポリメラーゼ連

鎖反応)の略で、PCR機器で検査を実施する際に、増幅プログラムによって遺伝子の複製を行い目的とする遺伝子を増幅する方法をいいます(検査試薬によって目的とする遺伝子が違います。例えば、当院で使用している検査試薬の1つは下の図の「N遺伝子」を増幅しています)。当院では主にこの方法を用いて、新型コロナウイルスの感染が疑われる患者さんや手術等により入院が必要な患者さんの鼻腔(鼻前庭)から検体を採取し、新型コロナウイルスの検査を行っております。平日1日当たり約90件実施しており、1年間にしますと2万件以上の検査を実施しております。臨床検査・輸血部としては、来院される患者さんや日夜多忙を極める病院スタッフの安全、安心に少しでも貢献できたらと思っています。

新型コロナウイルス ウィルスとRNAゲノム (簡略化したイメージ図)



がん看護専門看護師になって

6階西ナーステーション 看護師 江口 卓也

2022年に旭川医科大学大学院を修了した後、認定試験に合格しました。在学中は、コロナ禍のため講義の変更や中止、オンラインの導入など、初めてのことも多く大変なこともありましたが、大学や病院をはじめとする多くの方々からの支えがあり、病棟で勤務をしながら3年間の教育課程を無事に修了することができたことをこの場を借りて感謝申し上げます。



近年、がん医療は発展し、不治の病であった時代からがん共存する時代となっています。高度化・複雑化が加速し多種多様な看護が必要とされる現場において、患者・家族の希望を大切に多職種と協働しながら、その時を逃さずに専門看護師としての役割を發揮していきます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

老人看護専門看護師になって

7階東ナーステーション 看護師 小野寺 優

2022年3月に旭川医科大学大学院医学系研究科修士課程高度実践コース高齢者看護学を修了し、同年12月に老人看護専門看護師となりました。病院や大学をはじめ多くの方々からご支援、ご教授を承りましたこと、心より感謝申し上げます。



私は現在内科の混合病棟で勤務しており、長期入院で治療を受ける高齢患者様への看護に多く携わっています。日本の平均寿命は年々延びており治療を受ける方の年齢も上昇し、また病気と付き合いながら生活する期間も長くなっています。入院中から希望に沿った治療選択、退院後の生活場所の選択などをご本人・ご家族を主体に、意思決定を支援できるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年度 患者数等統計

(経営企画課)

区分	外来患者延数	一日平均外来患者数	院外処方箋発行率	初診患者数	紹介率	入院患者延数	一日平均入院患者数	稼働率	前年度稼働率	平均在院日数 (一般病床)
10月	31,496 ^人	1,574.8 ^人	97.6 [%]	1,183 ^人	92.7 [%]	13,781 ^人	444.5 ^人	73.8 [%]	79.3 [%]	10.7 ^日
11月	30,618	1,530.9	97.6	1,143	90.7	13,935	464.5	77.2	81.1	11.1
12月	30,306	1,515.3	97.6	976	94.3	12,800	412.9	68.6	82.1	10.2
計	92,420	1,540.3	97.6	3,302	92.5	40,516	440.4	73.2	80.8	10.7
累計	279,532	1,527.5	97.4	10,488	92.2	125,488	456.3	75.8	77.4	10.6

時事ニュース

- ◆医師国家試験 2月4日(土)～5日(日)
- ◆看護師国家試験 2月12日(日)
- ◆災害訓練 2月15日(水)
- ◆医師国家試験 合格発表 3月16日(木)
- ◆看護師国家試験 合格発表 3月24日(金)
- ◆学位記授与式 3月24日(金)
- ◆入学式 4月6日(木)



編集後記

2022年7月26日。排便後の便槽が血で真っ赤に染まった。「なんじゃこりゃ!?!」。気分は松田優作。人生初の大腸カメラに挑むこととなった。現れたのは消化器内科高橋先生。十数年前、研修医だった彼を産婦人科に勧誘したのだから秒で断られたことがある。下剤はなかなか大変だが、大腸カメラ自体は意外と全くつらくなかった。25mmのポリープが発見された。8月25日。一泊入院。2回目の大腸カメラでポリープが切除された。またしても全然つらくなかった。やはり彼は腕がいいのかもしれない。知らんけど。数日後、S状結腸癌という結果であったが、どうやら治ったらしい。というわけで、自分の科に全く興味がない研修医に将来命を救われることがあるかもしれない、という出来事でした。内視鏡室、内科外来・病棟などの皆様お世話になりました。ありがとうございました。

(産婦人科学講座 市川 英俊)